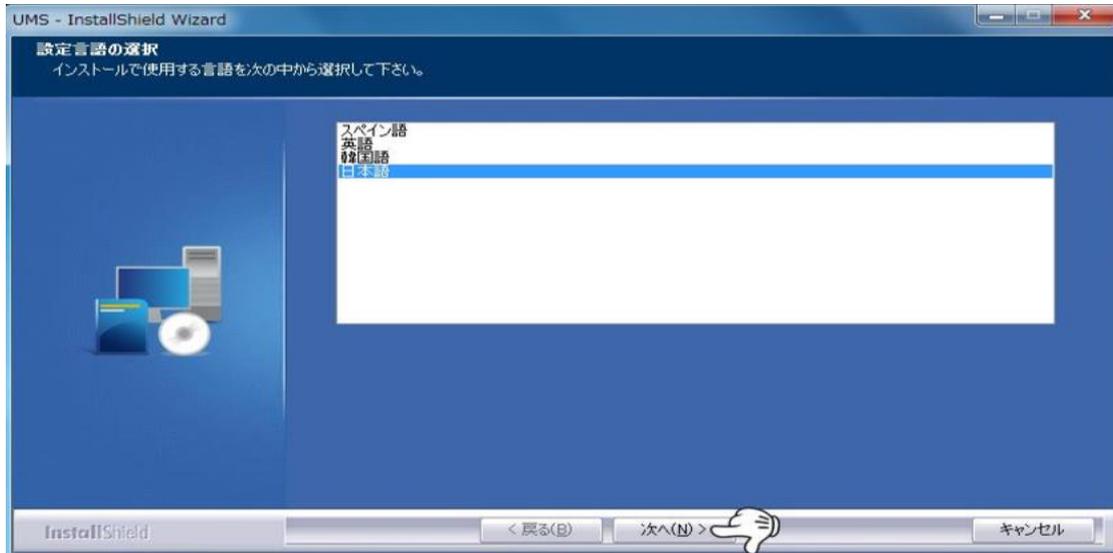
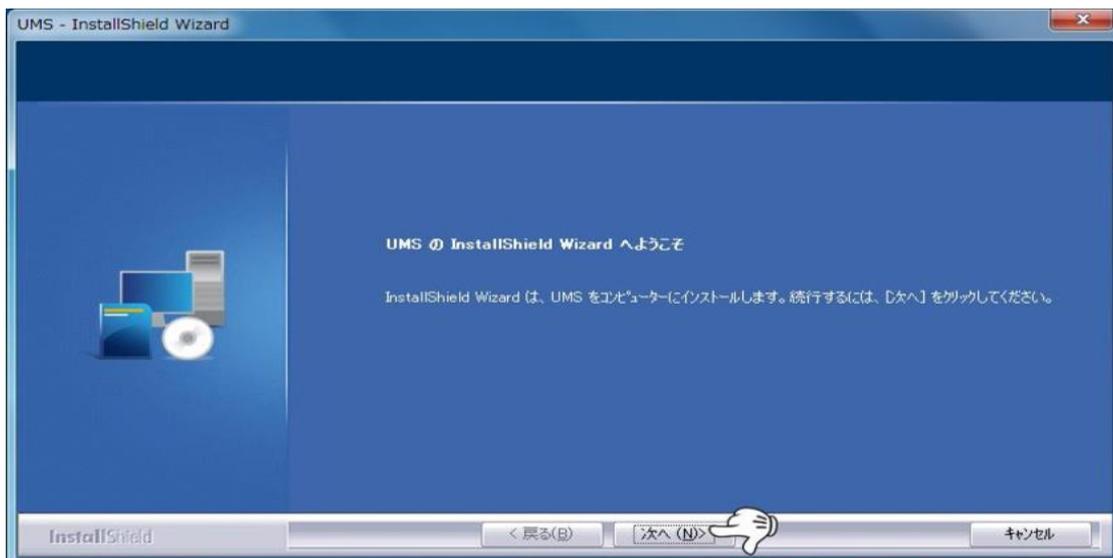


UMS 簡易説明書

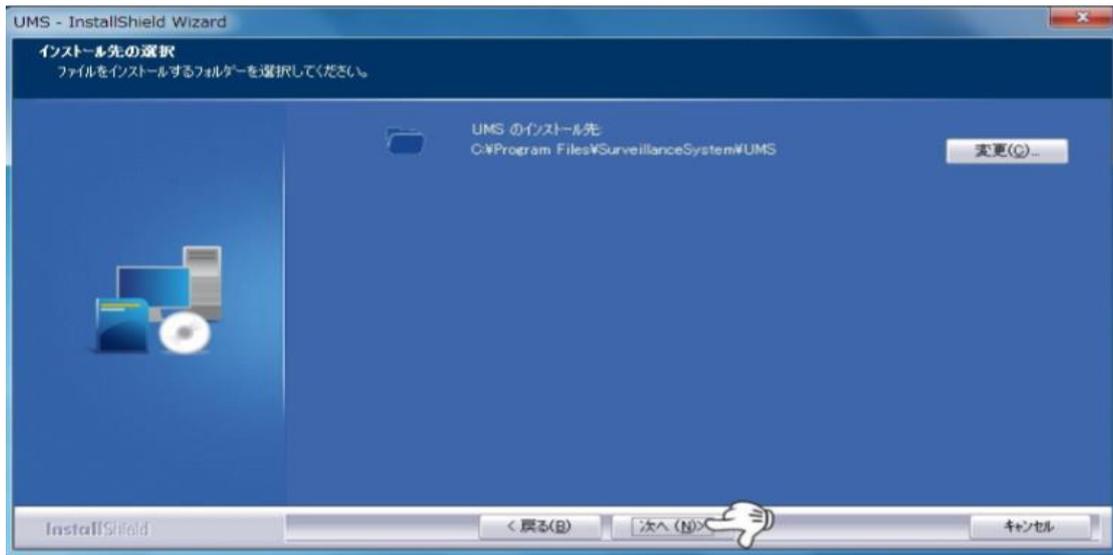
◆ インストール方法



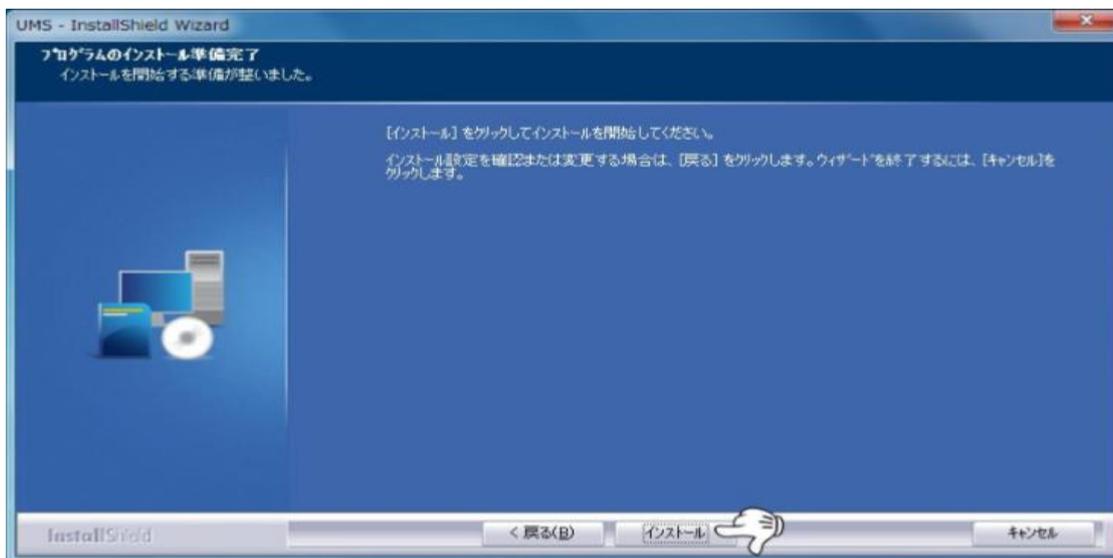
上の画面で“次へ”ボタンをクリックします。



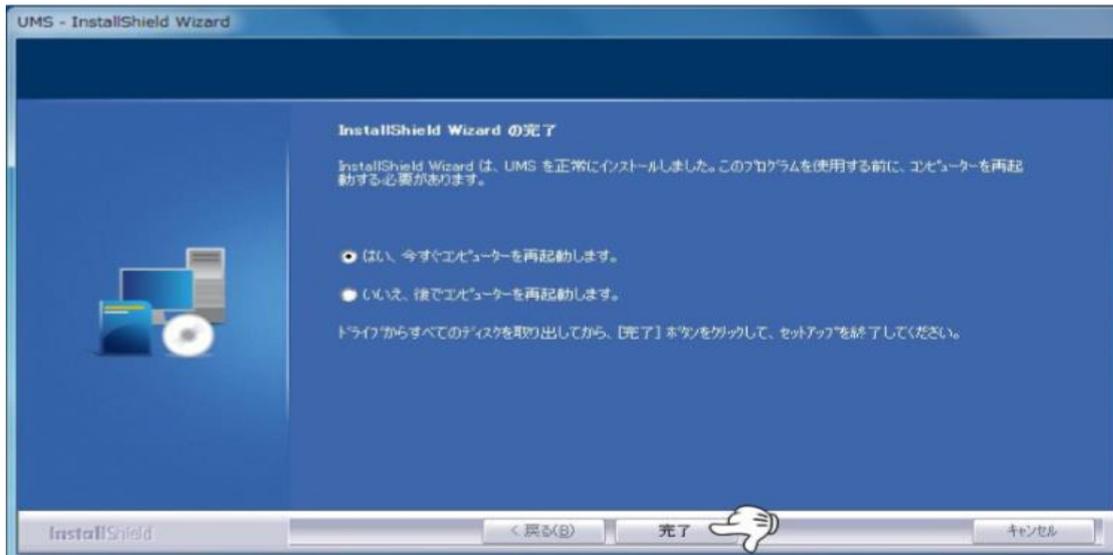
上の画面で“次へ”ボタンをクリックします。



上の画面で“次へ”ボタンをクリックします。
保存先に変更がある場合のみ、“変更”を選択し、保存先を指定します。



上の画面で“インストール”ボタンをクリックします。



上の画面で“完了”ボタンをクリックします。
 設置が正常に完了されたら、デスクトップに設置されたアイコンが表示されます。



◆ 監視デバイス登録方法

UMSを使用するために、最初に監視デバイスの登録が必要です。
 監視デバイスのタイプによって選択する項目が異なりますので設置者に確認をしてください。

監視デバイス登録のために製品メーカーを選択します。



製品モデルによって登録ボタンが異なります。対象のモデルを選択して登録してください。
 (下記、説明文はFDS-400HTでのご説明になります。)



FNS製品登録時に選択します。



BVR登録時に選択します。



FHS登録時に選択します。

製品登録ウィンドウで（↑画面）監視デバイス情報を入力します。

DEVICE NAME	ユーザー任意の名前を入力します。
DEVICE Information	参考用の説明を入力します。
LOGIN-ID	監視デバイスのログインIDを入力します。
LOGIN-PASS	監視デバイスのパスワードを入力します。
CH-Count	監視デバイスのチャンネルを選択します。
DEVICE Address	監視デバイスのIPアドレスを入力します。（ローカルの場合のみ必要）
DEVICE port	監視デバイスの接続ポートを入力します。
DEVICE Web port	変更する必要はありません。
<input type="checkbox"/> デバイスURL使用	流動的IPユーザーの場合、チェックしてDDNSアドレスを入力します。

ADD AS ROOTにチェックすると最上位のフォルダーに作成され、
チェックされない場合は選択されたフォルダーの下層に作成されます。



監視デバイスリストに登録します。



選択された監視デバイスの情報を更新します。



選択された監視デバイスを削除します。

◆ 監視映像確認方法



上部選択バーの **UMS設定** を選択し、**情報** をクリックすると **ツールバー** が出てきます。

次に、**Virtual Area** の **+** をクリックするか、または **Virtual Area** をダブルクリックします。

クリック後、**情報** の **Virtual Area** 部分が表示されます。←のように **Virtual Area** 部分が下部に表示されます。(DVR登録リスト)



その後、**映像監視** タブを選択後、登録リストのDVRアイコンあるいは、DVR名を選択し、**接続** をクリックします。または、DVR名をダブルクリックします。

接続解除方法

登録リストのDVRアイコンあるいは、DVR名を選択し、**接続終了** をクリックします。



◆ 記録映像の検索

DVRに保存されている録画データを遠隔のUMSで検索（時間、イベント、カレンダー、ターゲット）することができます。

検索方法は、**映像 遠隔検索** を選択し、 をクリックします。



クリックをすると、(1)時間検索、(2)イベント検索、(3)カレンダー検索、ターゲット検索と出てきます。

(1)時間検索

時間検索とは、時間を指定して、指定時間帯の映像を検索できる機能です。

検索をするために最初に検索デバイスの映像を選択後、“時間検索”ボタンを選択します。



上図の画面で日付と時間を選択後、“PLAY”を選択すると再生されます。

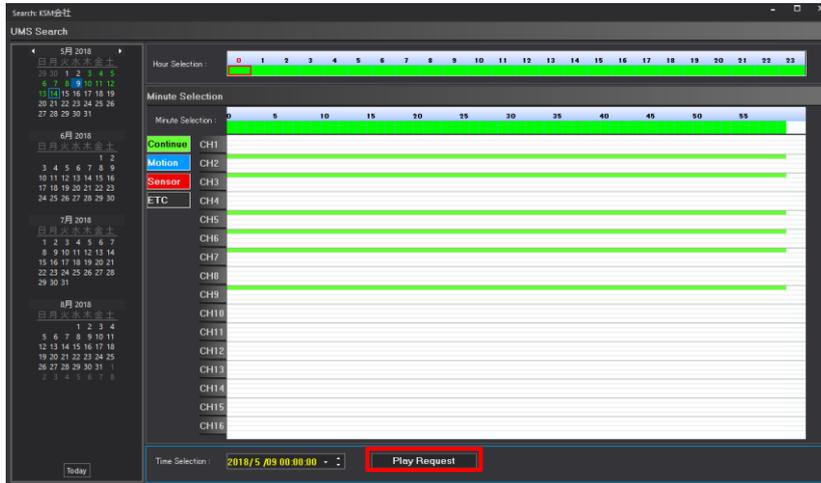
(2)イベント検索

イベント検索とは、イベントが発生されたリストを通じて検索する方法です。

最初に日付選択→イベントの種類選択→チャンネル選択→“履歴を呼び出します”ボタンをクリックするとイベントリストが検索されます。

(3) カレンダー検索

カレンダー検索とは、カレンダーから日付を選択して、該当の時間帯を検索できる機能です。



最初に、日付を選択後、時間と分を選択して、“Play Request”をクリックすると再生されます。

映像遠隔検索 各種ボタン機能



下図のアイコンで再生後、倍速/逆再生等を行うことができます。

-  巻き戻しボタン（クリックするたびに速度が速くなります。）
-  停止ボタン
-  再生ボタン
-  早送りボタン（クリックするたびに速度が速くなります。）
-  ライブモードに戻ります。

<再生モード画面>



映像が再生中の場合、上段の右から2番目のバーが赤色に表示されます。
多くの監視デバイスが接続されている場合、どの装置が再生中なのかを確認するためです。
再生速度が速いほど“>>>”表示が増加します。

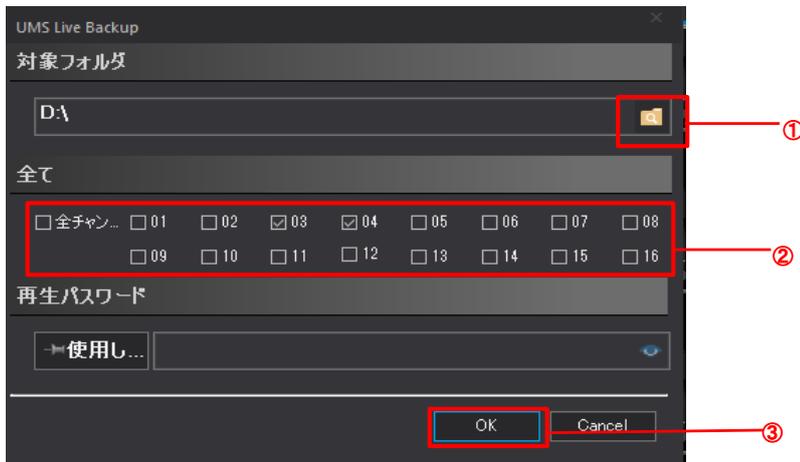
◆ 記録映像の遠隔バックアップ方法

この機能は監視デバイスに保存された映像を遠隔でバックアップ出来る機能です。
遠隔バックアップには、(1)ライブバックアップ/(2)スケジュールバックアップがあります。
最初に遠隔バックアップアイコンを選択します。その後ライブバックアップか、スケジュールバックアップを選択します。



(1) ライブバックアップ機能

ライブバックアップ機能は接続されている画面の映像をバックアップする機能です。



最初に、保存先フォルダを選択します。(1)
次にバックアップするチャンネルを選択し、(2)“OK”ボタンをクリックすると、ライブバックアップが始まります。(3)
ライブバックアップを停止する場合は、もう一度メニューから“ライブバックアップ”ボタンをクリックすると停止します。

(2) スケジュールバックアップ機能

スケジュールバックアップとは、希望の日付/時間帯を選択してバックアップする機能です。



最初に、カレンダーから日付を選択(1)→時間を選択(2)→バックアップするチャンネルを選択(3)
→“確認”ボタンを選択(4)、バックアップが開始します。バックアップを停止したい場合は
もう一度メニューから“スケジュールのバックアップ”ボタンをクリックすると停止します。